

平成 28 年度 事業報告

1) 登録者：平成 28 年度は 287 名の純増があったので、合計は 17,645 名である。

《純増の内訳》

一般	13 名	長崎北 LC	3 名	長崎みなと LC	1 名
長崎ベーシック LC	1 名	長崎天領 LC	1 名		
諫早 LC	36 名	諫早東 LC	1 名	諫早中央 LC	2 名
諫早センチュアソン LC	4 名	大村 LC	1 名	大村中央 LC	2 名
おおむら桜 LC	12 名	島原 LC	171 名	国見長崎 LC	1 名
深江布津 LC	3 名	有家西有家 LC	1 名	日野江城 LC	6 名
佐世保中央 LC	1 名	波佐見 LC	17 名	はさみ炎 LC	1 名
多良見 LC	4 名	高来小長井 LC	3 名	長与 LC	2 名
					合計 287 名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(平成 29 年 3 月 31 日現在)

献眼者数	62 名
摘出角膜数	122 眼 (2 名は片眼のみ摘出)
移植利用角膜数	63 眼 (うち 15 眼は昨年度の保存角膜を利用)
保存眼数 (表層移植用)	36 眼

※ 41 眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした。

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

長崎大学病院	95 名	長崎医療センター	0 名
佐世保市総合医療センター	0 名		

計 95 名

【参考】角膜移植待機患者人数 (過去 15 年分)

平成 14 年度末：79 人	平成 15 年度末：80 人	平成 16 年度末：62 人
平成 17 年度末：24 人	平成 18 年度末：25 人	平成 19 年度末：24 人
平成 20 年度末：21 人	平成 21 年度末：17 人	平成 22 年度末：17 人
平成 23 年度末：19 人	平成 24 年度末：33 人	平成 25 年度末：51 人
平成 26 年度末：61 人	平成 27 年度末：73 人	平成 28 年度末：95 人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ 10 眼の角膜をあっせんした。

福岡県医師会アイバンク	4 眼
久留米大学アイバンク	3 眼
三重県角膜・臓器バンク協会	1 眼
順天堂アイバンク	1 眼
かながわ健康財団腎・アイバンク推進本部	1 眼

4) 会議・セミナー

(1)第 5 回理事会

平成 28 年 5 月 25 日 長崎大学歯学部会議室

(2)第 3 回評議員会および第 6 回理事会

平成 28 年 6 月 21 日 ホテルニュー長崎

(3)第 38 回 九州各県アイバンク連絡協議会

平成 28 年 7 月 22 日 東京 (井上・浜崎)

(4)第 39 回 全国アイバンク連絡協議会

平成 28 年 7 月 22 日 東京 (井上・浜崎)

(5)第 32 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 28 年 7 月 23 日 東京 (浜崎)

(6)第 33 回 アイバンクワークショップセミナー

平成 29 年 2 月 10 日 東京 (浜崎)

(7)第 8 回理事会

平成 29 年 3 月 3 日 長崎大学歯学部会議室

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 62 名である。

6) 普及啓発活動等

(1)平成 28 年 7 月 19 日

波佐見町総合文化会館にて「波佐見町高齢者いきいき大学」が開催され、理事長 北岡隆が「アイバンク活動の現状」について講演した。

(2)平成 28 年 10 月 2 日

長崎市および西彼杵郡在住のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診が行われ、26 名が受診した。

(場所：長崎原爆病院眼科外来 主催：長崎県眼科医会、長崎アイバンク)

(3)平成 28 年 10 月 23 日

NBC ビデオホールにて「長崎チサン愛 アイバンク歌謡祭」が開催され、長崎大学病院眼科 井上大輔が「角膜移植とアイバンク」について講演した。

(4)平成 28 年 11 月 26 日

諫早観光ホテル道具屋にて、アイバンクサポーター講習会および長崎アイバンク設立 50 周年記念式典・祝賀会を開催した。

(5)平成 29 年 1 月 21 日

長崎大学医学部良順会館ボードインホールにて、長崎アイバンク設立 50 周年記念公開講座を開催した。

7) その他報告

(1)平成 28 年 12 月 15 日

長崎新聞文化ホールにて長崎北ライオンズクラブ忘年例会が開催され、長崎大学病院眼科 井上大輔が出席し、長崎アイバンクへの寄附金を受けた。